

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年3月27日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

| 疾病 | 疫学週 | | | |
|--|------------------|-------------|--------------|---------------|
| | 9週 | 10週 | 11週 | 12週 |
| | 2月23日 ~ 3月1日 | 3月2日 ~ 3月8日 | 3月9日 ~ 3月15日 | 3月16日 ~ 3月22日 |
| 急性呼吸器感染症(ARI) インフルエンザ* 新型コロナウイルス感染症* | 525 | 573 | 619 | 422 |
| | 105.00 | 114.60 | 123.80 | 84.40 |
| | 90 | 54 | 51 | 32 |
| 18.00 | 10.80 | 10.20 | 6.40 | |
| 13 | 23 | 14 | 9 | |
| 2.60 | 4.60 | 2.80 | 1.80 | |
| 小児科定点 | RSウイルス感染症* | | | |
| | 咽頭結膜熱* | | | 3 |
| | 1.00 | 1.00 | 2.67 | 1.67 |
| | 3 | 3 | 8 | 5 |
| | 1.00 | 1.00 | 2.67 | 1.67 |
| | 9 | 15 | 7 | 5 |
| | 3.00 | 5.00 | 2.33 | 1.67 |
| | 水痘 | | | |
| | 手足口病 | | | |
| | 伝染性紅斑 | | | |
| 1 | 4 | 1 | | |
| 0.33 | 1.33 | 0.33 | | |
| ヘルパンギーナ* | | | | |
| 流行性耳下腺炎 | | | | |
| 眼科定点 | 急性出血性結膜炎 | | | |
| | 3 | | 2 | |
| 3.00 | | 2.00 | | |
| 基幹定点 | 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | | | |
| | クラミジア肺炎(オウム病は除く) | | | |
| | 細菌性髄膜炎(真菌性を含む) | | | |
| | マイコプラズマ肺炎 | | | |
| | 無菌性髄膜炎 | | | |
| 拡張疾患 | マイコプラズマ肺炎(小児科) | 2 | | |
| | 川崎病 | | 2 | 1 |
| | 不明発疹症 | | | |

大崎保健所管内定点数: 内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

| 施設区分 | 保育所 | 高齢者・障害者施設 | 医療機関 |
|------|--------------|------------------------|------|
| 対応状況 | ○ | ◎ | — |
| 備考 | 新型コロナウイルス感染症 | 新型コロナウイルス感染症 感染性胃腸炎 | |

3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原支所管内

- なし

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- 県全体における急性呼吸器感染症、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症の患者報告数が減少しました。
- 一方、急性呼吸器感染症患者検体からは、インフルエンザウイルスBビクトリア系統や新型コロナウイルスが検出されており、引き続き注意が必要です。
- 春は人の動きが多くなる季節です。咳エチケットの徹底や石鹸を用いた手洗い等の基本的な感染対策を心がけてください。

【集団発生状況】※栗原支所管内

- 新たに、高齢者・障害者施設で新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎の集団発生がありました。

- 栗原支所では、御希望の施設に職員を派遣して、研修会を実施しています。
- 研修会では、講話の他、吐物処理やPPEの着脱、手洗い等の演習も実施可能です。
- 御希望があれば、右記番号まで御連絡ください。

【施設職員の皆様へ】

- 保健所では管内施設等を対象に感染症予防啓発物品(手洗いチェッカー、CO2センサー)の貸出を行っています。
- 職員の勉強会等で御活用ください。



【感染症コラム～多剤耐性緑膿菌感染症～】

- 緑膿菌は自然環境に多く分布しており、免疫不全者の感染症の代表的な起因菌の一つです。
- 感染症法では、特定の抗菌薬に耐性を獲得したものを「薬剤耐性緑膿菌感染症」として5類感染症定点把握疾患と定めています。
- 今般、名称を「多剤耐性緑膿菌感染症」へ変更し、全数把握疾患とすることや届出基準の見直しが行われました。令和8年4月6日から適用となりますので、診断した医師は最寄り保健所への届出に御留意ください。(現行は基幹定点医療機関が月単位で届出となっていますが、4月6日以降は全医療機関が診断後7日以内に届出が必要になります。)
- 届出については、厚生労働省ホームページ「感染症法に基づく医師の届出のお願い」を御確認ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594